

入院診療計画書

下肢抜釘術を受けられる () 様へ

病名 (診断群分類名) (右 ・ 左)

年齢

生年月日:

薬剤師

2部印刷
1部: 患者ファイル
1部: 患者様用

症状














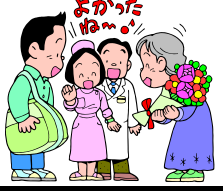
受持看護師

病棟

リハビリ担当

担当管理栄養士

手術日時 年 月 日 AM ・ PM 時 分

病日	入院日/手術前日	手術当日		術後1日	術後2日~5日(退院)
		術前	術後		
日付	/ ()	/ ()	/ ()	/ ()	/ () ~ / ()
目標	安心して手術を受けることができる 手術の方法・目的が理解できる	心身ともに安定した状態で手術を受けることができる	痛い時や調子の悪い時などに訴えることができる	痛い時や調子の悪い時などに訴えることができる	
食事	手術前日の午後9時、もしくは麻酔科医の指示する時間までは、常食です。(水分は麻酔科医から説明があります)	麻酔科医の指示時間までは水分摂取は可能です 	飲んだり食べたり出来ません 	水分は自由です おなかの動きがよければ、流動食より開始し、徐々にもとの食事に戻します ※必要に応じて治療食が出る場合があります。 	
安静度	自由です 	自由です 	ベッド上安静です 寝返りはできません	医師の指示により歩行することができます	
清潔	シャワー浴することができます 	シャワー浴を行い、義歯、アクセサリは外して下さい 		体を拭きます 	
排泄			尿管が入っています ベッドの上での排泄となります	尿管を抜いてトイレに行くことができます	
検査	医師の指示により検査があります		血液検査と胸部・手術部のX線撮影をします 		
治療	手術前日の夜に胃薬を内服していただく場合があります 持参薬は特に指示がなければ続けて飲んでください ※抗凝固薬(バイアスピリン・ワーファリン・プラビックス・チクロピジン・タケルダ配合錠・シロスタゾール・プラザキサ・イグザレルト・リクシアナ・エリキュース・コンプラミン配合錠など)を内服している方は中止してください	点滴をします 胃薬を内服していただく場合があります 抗生剤の点滴をします	点滴をします  酸素吸入をします 酸素の状態が落ち着いていれば酸素吸入は終了します 	飲水・食事が開始となれば飲み薬を再開します(抗凝固剤の内服は医師の指示が出れば再開します) 	傷の消毒があります 感染や異常がなければ退院可能となります
説明指導	麻酔科医が麻酔について説明します お薬などのアレルギー歴がある場合はお知らせください 主治医・看護師が手術について説明します(看護師はパンフレットを使用し説明します) 薬剤師がお薬について説明します 同意書は手術当日までに詰所にお渡しください 	手術中、家族の方は病室またはデイルームでお待ち下さい	手術後、主治医から手術説明があります 痛みがある時は、遠慮なく看護師に申し出て下さい 必要時痛み止めを使います		薬剤師がお薬について説明します 傷が濡れないように注意して生活してください 腫れや痛み熱感など異常があるときは早めに受診してください 

※上記内容は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることもありますのでご了承ください

※ご質問等ございましたら気軽にスタッフへ声を掛けてください。

※ 特別な栄養管理の必要性

有
 無

主治医

印
又は署名

私は、上記診療行為について、主治医から十分な説明を受けました。

◇総合的な機能評価◇

評価対象外

- ・ 日常生活動作 問題なし 要経過観察
- ・ 認知機能 問題なし 要経過観察
- ・ 意欲 問題なし 要経過観察

年 月 日 患者 又は 親権者・親族等サイン

(続柄)